

パナニック環境エンジニアリングがトップ70

情報共有致します。

10/9(木)

OB会 吉野一博

(1) 第8580号

(平成元年5月29日 第三種郵便物認可)

建設新新聞

2025年(令和7年)9月19日<金曜日> 日刊(土・日・祝日休刊)

入札情報に自信あり

建通新聞電子版



きょうの
紙面

■民間開発ニュース 3面
日商エステム/東大阪市吉田7
新築 1月着工目指す
■民間公募 4面
サンハイツ宝塚五月台排水設備
改修工事など

■公共事業ニュース 2面
大阪府・市ノススマートシティ戦
略Ver3.0 25年度中に策定
■近畿総合ニュース 4面
彦根愛知犬上広域行政組合
「中山投棄場」跡地利用を検討

■全国ニュース 12面
国交省/「労務費の基準」素案
を提示 中期的に重層構造は正
■特集 5〜7面
環境特集

2025年(令和7年)
9月19日金曜日

建通新聞 大阪

発行所: 建通新聞社 大阪支社 〒541-0045 大阪市中央区道修町2-6-7 電話<06>6201-3927 新聞定価6ヶ月 52,200円(税込) ©建通新聞社 2025

建通新聞「電子版」は
こちらからアクセス！

管総合トップ20

順位	会社名	金額(千円)
1	パナニック環境エンジニアリング	4,395,317,000
2	クシマガリイ	1,024,540,000
3	ダイダン	847,888,000
4	大阪ガスマークeting	197,431,000
5	フクシマガリイ	115,815,000
6	Daigasエナジー	61,954,818
7	パナニック環境エンジニアリング	57,683,562
8	大阪ガスマークeting	56,134,736
9	岩谷瓦斯	43,220,530
10	IA・ウォーター・ガスプロダクツ	41,123,539
11	八神	
12	萬世電機	
13	鳳工業	
14	東洋紡エンジニアリング	
15	大阪ガスリリテック	
16	ホシザキ阪神	
17	不二熱学工業	
18	大阪ガスアアシリティーズ	
19	日新興業	
20	関西日立	

管平均完成工事高トップ10

順位	会社名	金額(千円)
1	ダイダン	159,434,360
2	三晃空調	37,915,707
3	パナニック環境エンジニアリング	25,906,235
4	クシマガリイ	13,788,841
5	不二熱学工業	10,938,158
6	中井エンジニアリング	10,482,192
7	精研	10,194,217
8	鳳工業	9,648,053
9	中島工業	6,801,073
10	岩谷産業	6,248,472

評価Yトップ10

順位	会社名	評価
1	パナニック環境エンジニアリング	1436
2	大阪ガスマークeting	1396
3	フクシマガリイ	1376
4	エネアーク関西	1358
5	ダイダン	1307
6	岩谷瓦斯	1297
7	岩谷産業	1291
8	ダイキン工業	1287
9	積水アークシステム	1287
10	ホシザキ京阪	1286

売上高トップ10

順位	会社名	金額(千円)
1	ダイキン工業	4,395,317,000
2	IA・ウォーター	1,024,540,000
3	岩谷産業	847,888,000
4	ダイダン	197,431,000
5	フクシマガリイ	115,815,000
6	Daigasエナジー	61,954,818
7	パナニック環境エンジニアリング	57,683,562
8	大阪ガスマークeting	56,134,736
9	岩谷瓦斯	43,220,530
10	IA・ウォーター・ガスプロダクツ	41,123,539

経営状況総合得点トップ10

順位	会社名	得点
1	パナニック環境エンジニアリング	731
2	大阪ガスマークeting	722
3	フクシマガリイ	691
4	積水アークシステム	679
5	ホシザキ京阪	673
6	日本水処理工業	662
7	日経サ・ビス	660
8	エネアーク関西	659
9	柳生設備	657
10	ダイダン	653

大阪府内経審総合ランキング④管 パナニック環境がトップ

本紙調べ

建設情報管理センター(C-I-C)が公表している建設企業の経営事項審査(経審)結果のうち、①売上高②25年(または3年)平均完成工事高③評点④入りの経営状況分析指標による総合ランキングを5月30日時点のデータを基に独自に集計した(※)。今回のデータは、大阪府内に本社を置く主要な「管」の企業1088社を抽出。四つの項目でも上位にランクインしている企業の総合順位を見ると、パナニック環境エンジニアリングがトップに立った。2位はフクシマガリイ、3位はダイダンとなった。

データで読み解く

建設業

23年度と24年度に行なったこれまでの調査でもこれら3社で1位を分け合っており、今回はパナニック環境エンジニアリ

ングが抜けた。4項目全てトップ10に入り、経営面の評点と経営状況分析指標が全体の1位となった。フクシマガリイは1位の項目はなかったものの全てトップ5に入ると安定ぶり。ダイダンは1位を守り続けている。管平均売上高をはじめ4項目全てトップ10に入った。売上高はダイキン工業、売上高はダイダンが

4項目のうち、売上高は4兆円を超えるダイキン工業がトップ、1兆円超えのエア・ウォーターが続いた。8000億円超の岩谷産業、1000億円のダイダンとフクシマガリイがトップ5となる。管売上高はダイダンが1000億円台でトップ。三晃空調、パナニック環境エンジニアリングの他、フクシマガリイ、不二熱学工業、中井エンジニアリング、精研までが100億円を超えた。パナニック環境大阪ガスマーク、フクシマガリイの3社が経営面のトップ3。経営面については、評点Y、経営状況分析指標ともパナニック環

境エンジニアリングが1位。評点Yの1400点台は同社のみ。1300点台で大阪ガスマーク、フクシマガリイ、エネアーク関西、ダイダンが続いた。1200点台は10社、1100点台は7社、1000点台は16社、900点台は224社あった。経営状況分析指標では、パナニック環境エンジニアリングと大阪ガスマーク、フクシマガリイ、積水アークシステム、ホシザキ京阪、日本水処理工業、日経サ・ビス、エネアーク関西、柳生設備、ダイダンの8社。649、600点台は8社、500点台は401社、400点台は313社。400点未満の企業は382社あった。※売上高、管平均完成工事高、評点Yは経審結果にあるデータでランキング。入りの経営状況分析指標①純支払利息比率②負債回転期間③総資本売上総利益率④売上高経常利益率⑤自己資本対固定資産比率⑥自己資本比率⑦営業キャッシュフロー⑧利益剰余金率は、経審結果にあるデータをそれぞれ100点満点で得点化して独自に算出した。総合得点で順位を付けた。これら企業としての儲けや経営安定度を見る四つの項目でも上位にランキングされていることが総合的に優れた企業と判断した。

取材協力: JME